



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
 コード番号 4064 URL <https://www.carbide.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 孝久
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 藤田 優
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5462-8224

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,278	10.1	501	14.1	515	8.5	262	4.1
2020年3月期第1四半期	11,437	3.2	583	25.0	474	45.6	273	64.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 285百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 361百万円 (29.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	31.60	
2020年3月期第1四半期	33.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	60,911	25,704	39.8
2020年3月期	61,242	25,962	39.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 24,264百万円 2020年3月期 24,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		40.00	40.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,500	13.9	0	100.0	100	91.5	0	100.0	0.00
通期	42,500	9.0	1,200	53.1	1,250	55.6	600	65.6	72.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	8,529,029 株	2020年3月期	8,227,329 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	6,799 株	2020年3月期	6,798 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	8,312,206 株	2020年3月期1Q	8,187,303 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2021年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的レベルで拡大したことにより、消費や投資が落ち込み、大きく悪化しました。これに加え、米中対立の激化や、感染症の第二波襲来が懸念され、先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の影響などにより、自動車やオートバイの生産台数が減少したこともあり、フィルム・シート製品は総じて減販となりました。一方、新型コロナウイルス検査薬向けなどの医薬関連や、テレワークの拡大を背景としたタブレット端末等の需要が増加し、機能化学品や電子素材は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は10,278百万円と前年同期比1,159百万円(10.1%減)の減収、営業利益は501百万円と前年同期比82百万円(14.1%減)の減益、経常利益は515百万円と前年同期比40百万円(8.5%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円と前年同期比11百万円(4.1%減)の減益となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(電子・機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬・中間体などの機能化学品、粘・接着剤やトナー用樹脂などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、新型コロナウイルス検査薬向けなどの医薬関連が好調に推移し、前年同期比増収増益となりました。機能樹脂は、自動車向けや繊維向け粘・接着剤の需要が低調となり、前年同期比減収減益となりました。電子素材は、半導体市況の回復を受けて、半導体用金型クリーニング材の販売が伸長、セラミック基板もタブレット端末向けが好調に推移し、前年同期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は4,361百万円と前年同期比219百万円(4.8%減)の減収となったものの、セグメント利益は459百万円と前年同期比12百万円(2.7%増)の増益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シートなどであります。

マーキングフィルムは、自動車向けや看板向けが低調に推移したものの、前年同期比減収増益となりました。ステッカーは、ベトナムやインドネシアなど東南アジア地域でのオートバイ向けが振るわず、前年同期比減収減益となりました。再帰反射シートは、欧州や中国でのナンバープレート向けが大幅に減少し、前年同期比減収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は3,198百万円と前年同期比530百万円(14.2%減)の減収、セグメント利益は61百万円と前年同期比62百万円(50.4%減)の減益となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、ビル・住宅用アルミ建材や内装建材用プラスチック押出製品などではありますが、住宅着工戸数の減少などにより、主力の手摺、笠木等の販売が低迷し、前年同期比減収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は2,118百万円と前年同期比433百万円(17.0%減)の減収、セグメント利益は80百万円と前年同期比93百万円(53.8%減)の減益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・環境分野の産業プラントの設計・施工などではありますが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は850百万円と前年同期比58百万円(6.4%減)の減収、セグメント損失は30百万円(前年同期は21百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比331百万円減少し、60,911百万円となりました。

このうち、流動資産は、現金及び預金や棚卸資産の増加はあったものの、受取手形及び売掛金の減少などにより、前期末比363百万円減少し、32,878百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が前期末比84百万円減少し、23,913百万円となったものの、投資その他の資産が投資有価証券の時価の上昇などにより、前期末比110百万円増加し、3,200百万円となったことなどにより、前期末比32百万円増加し、28,033百万円となりました。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前期末比73百万円減少し、35,207百万円となりました。

このうち、流動負債は、未払法人税等の減少はあったものの、短期借入金の増加などにより、前期末比26百万円増加し、21,397百万円となりました。固定負債は、長期借入金の約定弁済などにより、前期末比99百万円減少し、13,809百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の受取手形割引高を含む有利子負債残高は、前期末比21百万円減少し、17,400百万円となりました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前期末比258百万円減少し、25,704百万円となりました。

このうち、株主資本は、新株予約権の行使などにより、前期末比315百万円増加し、18,580百万円となりましたが、その他の包括利益累計額は、円高に伴う為替換算調整勘定の減少などにより、前期末比492百万円減少し、5,683百万円となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の39.9%から39.8%と0.1ポイント悪化しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動は下期以降徐々に回復が進む、との仮定について重要な変更は行っておりません。2020年5月20日に公表いたしました連結業績予想に変更はありませんが、新型コロナウイルス感染症の終息時期により変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,924	10,144
受取手形及び売掛金	14,549	13,545
商品及び製品	4,026	4,371
仕掛品	1,903	1,859
原材料及び貯蔵品	2,222	2,347
その他	709	698
貸倒引当金	△95	△89
流動資産合計	33,241	32,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,007	6,823
機械装置及び運搬具(純額)	3,725	3,518
土地	11,594	11,538
その他(純額)	1,670	2,032
有形固定資産合計	23,997	23,913
無形固定資産	913	919
投資その他の資産		
その他	3,155	3,268
貸倒引当金	△65	△68
投資その他の資産合計	3,089	3,200
固定資産合計	28,000	28,033
資産合計	61,242	60,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,699	6,769
短期借入金	10,749	10,961
未払法人税等	309	214
賞与引当金	567	604
役員賞与引当金	32	—
その他	3,012	2,846
流動負債合計	21,370	21,397
固定負債		
長期借入金	6,603	6,439
退職給付に係る負債	3,531	3,510
役員退職慰労引当金	52	37
再評価に係る繰延税金負債	2,811	2,811
その他	909	1,009
固定負債合計	13,909	13,809
負債合計	35,280	35,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,055	7,246
資本剰余金	2,425	2,616
利益剰余金	8,796	8,730
自己株式	△12	△12
株主資本合計	18,265	18,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	406
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	6,255	6,255
為替換算調整勘定	△139	△763
退職給付に係る調整累計額	△232	△213
その他の包括利益累計額合計	6,176	5,683
新株予約権	4	3
非支配株主持分	1,516	1,436
純資産合計	25,962	25,704
負債純資産合計	61,242	60,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,437	10,278
売上原価	8,051	7,051
売上総利益	3,386	3,226
販売費及び一般管理費	2,803	2,725
営業利益	583	501
営業外収益		
受取利息	47	33
受取配当金	27	33
その他	50	60
営業外収益合計	125	127
営業外費用		
支払利息	39	37
為替差損	141	0
その他	53	75
営業外費用合計	234	113
経常利益	474	515
特別損失		
投資有価証券等評価損	—	30
特別損失合計	—	30
税金等調整前四半期純利益	474	484
法人税、住民税及び事業税	159	129
法人税等調整額	△24	48
法人税等合計	134	178
四半期純利益	339	306
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	273	262

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	339	306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185	104
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	193	△695
退職給付に係る調整額	11	0
その他の包括利益合計	21	△591
四半期包括利益	361	△285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283	△229
非支配株主に係る四半期包括利益	77	△55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,677	3,743	2,544	539	11,505	△68	11,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△97	△15	7	369	262	△262	—
計	4,580	3,728	2,551	908	11,767	△330	11,437
セグメント利益又は 損失(△)	447	123	173	△21	723	△140	583

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,344	3,178	2,114	653	10,290	△12	10,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	20	4	197	237	△237	—
計	4,361	3,198	2,118	850	10,527	△249	10,278
セグメント利益又は 損失(△)	459	61	80	△30	571	△70	501

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。